

# ☆☆☆ 津房婦人ボランティア ☆☆☆ 永年に亘る活動により感謝状授与されました！



感謝状を手に、現在の主要メンバー



女性グループがさまざまなシーンで活躍し、輝く場となっていた「婦人会」組織も、平成17年の市町村合併を機に当地区の組織は風前のともしび状態にまであったのですが、佐藤恵美子さん(板場)を中心に、藤田弘子さん(中間)、安部イツカさん(五郎丸)、後藤紀美子さん(板場)、梶原貴和子さん(尾立)の5人が「津房婦人ボランティア」の名のもとに結束して、「婦人会」の精神を継承し、その活動を実践して来られました。

今回、地区公民館の定期的な清掃奉仕、高齢者に対する支援活動、学校行事や地域活性化行事での奉仕活動など、広範に亘る活動が宇佐市社会福祉協議会から評価され、さる10月29日開催の「うさ福祉フェスタ」において宇佐市社会福祉協議会会長感謝状が授与されました。当記事にて地区の皆さんにご紹介し、敬意を表します。

(感謝状は地区の誉れとして、地区公民館の玄関に掲示されています)

なお、5人でスタートしたボランティアグループですが、その後の輪の拡がり、現在15名以上にまで増え、地区公民館やまちづくり協議会が主催する多くの事業においてご協力頂いています。

## 津小対象の探訪ツアー

昨年に続き、津小児童を対象にした地区内探訪ツアーを行いました。

地区の将来を担ってもらう津房っ子たちに、地区のすみずみまで知ってもらおうとの主旨で探訪先を変えてツアーしました。絶好の天候に恵まれた11月11日(土)朝、津房公民館に集合、児童18人、先生7人、父兄13人、ガイド役の小野正雄氏、地域おこし協力隊の倉住紀子さん、まち協事務局の総勢41人が自家用車に分乗して出発、丸田の石橋、須崎・国境の両滝、寒水の森林伐採跡に出現したエヒメアヤメの群生地、安心院千代松丸の墓、崩ヶ迫の山神社拜殿に復元された百人一首の格天井絵、全国的にも数少ないトラピスト修道院、旧萱籠分校を改築して設営した萱籠窯の窯元(山本さん宅)など、丸田・萱籠集落のスポットを巡りました。

各スポットでは、ガイドの小野氏をはじめ、崩ヶ迫の元永淳一氏、トラピスト修道院の池辺シスター、山本哲也氏などからそれぞれの概要についての説明をいただき、子どもたちは勿論、随伴のおとなたちも知識を広めることができたツアーとなりました。



萱籠窯での集合写真  
← 小野さんのエヒメアヤメの解説



トラピスト修道院の池辺さん

山神社の元永さん

## 津房小学校教育文化祭への協賛

去る10月29日(日)、恒例の津房小学校と地区公民館の共催で、当協議会も参画の行事、津房小学校教育文化祭が開催されました。

前半は22名の児童たちによる愉快的な三本立ての劇と、地区内外のボランティアの方々に編成された「読み聞かせ Gr.」による「ありんこシアター」が演じられました。

一方、展示コーナーでは津小児童の書画作品、公民館・油絵教室のセミプロ級の作品群、地区の方々のアート作品が展示され、参加全員が文化の香りを味わうことが出来ました。

11時から、毎年種目を変えて行ってきた「地域の人とのふれあい体験」コーナーで、ことしのメニューは①動物や植物を作る折り紙あそび ②お手玉あそび ③けん玉あそび、の三種目で、一日先生をお願いした3人のリードのもと、児童たちはあそびに熱中し、良い体験となった筈です。

昼過ぎからは、すっかり恒例となった婦人ボランティアグループ調理による「豚汁」、穫れたての新米を使った「おにぎり」、そして「きな粉餅」を参加者 全員でいただき、秋の1日を文化と食を満喫できました。



平城和子さんリードによる折り紙あそび



矢坂美津子さんリードによるお手玉あそび



婦人ボランティア Gr. の調理の様子



山本哲也さんリードによるけん玉あそび

## 年末年始は津房温泉でユツタリと

例年にない寒い冬を迎えていますが、寒い日はやはり温泉でユツタリと過ごすのが最高ではないでしょうか。

この時期、夕方4時～6時ごろの間は入湯される客さんで結構ラッシュしますが、それ以外の時間帯はかなり空いており、ユツタリと過ごせます。

年末年始のいろいろな用事で心身ともにたいへん疲労する時期、源泉100%、格安料金の地元温泉でユターッとされるのは如何でしょうか。

正月で帰省されるご親族の方々にもぜひお奨め願います。

\* 貸切家族湯もあります (事前予約が必要です)。

営業時間等は次のとおりです。

営業時間： 11:00～20:00 (12月31日は19:00まで)

定休日： 毎週水曜日

但し平成30年1月1日は臨時休業日